



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 容造
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 小田島 淳悦 (TEL) 03-3603-1149
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	33,733	△1.4	508	△39.6	660	△30.7	412	△33.9
29年12月期第3四半期	34,199	0.4	840	△1.8	953	2.4	625	21.3

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 328百万円(△69.1%) 29年12月期第3四半期 1,061百万円(△8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	40.21	—
29年12月期第3四半期	60.70	—

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	52,596	25,115	47.7
29年12月期	53,862	25,298	46.9

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 25,093百万円 29年12月期 25,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	40.00	40.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,300	0.0	1,280	13.5	1,370	2.7	880	11.0	85.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	10,306,895株	29年12月期	10,306,895株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	81,813株	29年12月期	9,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	10,267,068株	29年12月期3Q	10,297,537株

※当社は、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※当社は、平成29年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年9月30日）における我が国経済は、企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復傾向となりましたが、原材料価格の上昇に加え、自然災害による物流網寸断や生産の減少などの影響もあり、不透明な状況で推移しました。

当油脂加工業界におきましては、緩やかな需要の回復は見られるものの、生活必需品に対する節約志向の継続と原材料の調達コストの上昇により、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、既存製品の更なる品質向上と市場ニーズに即応した高付加価値製品の開発に努めるとともに、展示会への出展等により新たな市場開拓と顧客の開拓に努めました。また各種コスト削減を行い収益改善に取り組みましたが、原材料価格上昇等の厳しい環境を打開するに至りませんでした。

この結果、売上高は337億3千3百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は5億8百万円（前年同期比39.6%減）、経常利益は6億6千万円（前年同期比30.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1千2百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、過去に例の無い酷暑のため主要取引先である製パン市場の需要が大幅に減少しました。そのため主力製品のマーガリン・ショートニングの販売量が低迷し、マーガリンにつきましては、主要原料の乳製品価格の暴騰も加わり非常に厳しい状況で推移しました。このような状況のなか、収益を確保するため、製品価格の改定に取り組むとともに、展示会への出展等、新たな顧客の獲得や平成30年度新製品を開発し拡販に努めましたが、各種原材料価格の高騰が収益を大きく圧迫しました。

その結果、売上高は228億5千5百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は6千1百万円（前年同期比85.0%減）となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、主要需要先である合成樹脂、界面活性剤、塗料、ゴム、トイレタリー、潤滑油等の業界への脂肪酸やグリセリンの販売が堅調に推移しました。

界面活性剤製品につきましては、紙・パルプ分野の家庭紙用薬剤の需要が堅調に推移し、中国への輸出も増加しました。また、化粧品分野のクレンジング基剤「Mファインオイル」については、化粧品メーカーの需要が好調に推移し、環境関連分野においても、飛灰用重金属処理剤の再販需要は一段落したものの、廃水用重金属処理剤の販売が増加しました。

その結果、売上高は107億8千1百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は3億9千3百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億6千6百万円減の525億9千6百万円となりました。主な減少は受取手形及び売掛金14億3千9百万円、機械装置及び運搬具（純額）4億9千7百万円であり、主な増加は仕掛品2億2百万円、原材料及び貯蔵品1億8千1百万円、電子記録債権1億5千2百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億8千2百万円減の274億8千1百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金15億1千4百万円、厚生年金基金解散損失引当金5億3千2百万円、流動負債のその他3億6千1百万円であり、主な増加は借入金10億2千8百万円、固定負債のその他4億9千7百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千3百万円減の251億1千5百万円となりました。主な減少は自己株式9千9百万円、退職給付に係る調整累計額5千9百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の46.9%から47.7%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,846	4,844
受取手形及び売掛金	12,600	11,161
電子記録債権	1,333	1,485
商品及び製品	2,401	2,402
仕掛品	460	662
原材料及び貯蔵品	2,453	2,635
その他	217	380
貸倒引当金	△16	△32
流動資産合計	24,297	23,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,607	4,452
機械装置及び運搬具(純額)	5,166	4,668
土地	5,325	5,325
その他(純額)	446	570
有形固定資産合計	15,545	15,016
無形固定資産		
その他	276	275
無形固定資産合計	276	275
投資その他の資産		
投資有価証券	10,751	10,712
退職給付に係る資産	2,814	2,876
その他	207	198
貸倒引当金	△30	△25
投資その他の資産合計	13,742	13,762
固定資産合計	29,564	29,054
資産合計	53,862	52,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,596	8,081
電子記録債務	904	1,009
短期借入金	3,155	4,975
1年内返済予定の長期借入金	879	3,361
未払法人税等	236	36
その他の引当金	8	23
その他	2,448	2,086
流動負債合計	17,227	19,572
固定負債		
長期借入金	6,210	2,936
退職給付に係る負債	2,342	2,259
役員退職慰労引当金	130	89
厚生年金基金解散損失引当金	532	-
役員株式給付引当金	-	4
その他	2,120	2,617
固定負債合計	11,336	7,908
負債合計	28,563	27,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	5,821	5,822
自己株式	△24	△124
株主資本合計	20,304	20,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,091	4,066
退職給付に係る調整累計額	880	821
その他の包括利益累計額合計	4,971	4,887
非支配株主持分	22	21
純資産合計	25,298	25,115
負債純資産合計	53,862	52,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	34,199	33,733
売上原価	28,764	28,601
売上総利益	5,434	5,131
販売費及び一般管理費	4,593	4,623
営業利益	840	508
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	109	141
持分法による投資利益	41	6
その他	78	129
営業外収益合計	229	277
営業外費用		
支払利息	88	84
その他	29	40
営業外費用合計	117	124
経常利益	953	660
特別損失		
有形固定資産除却損	51	51
関係会社株式評価損	29	-
特別損失合計	81	51
税金等調整前四半期純利益	871	609
法人税、住民税及び事業税	139	7
法人税等調整額	103	189
法人税等合計	243	196
四半期純利益	628	412
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	625	412

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	628	412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	489	△23
退職給付に係る調整額	△56	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	432	△84
四半期包括利益	1,061	328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057	328
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,642	10,441	34,083	115	34,199	—	34,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117	—	117	107	225	△225	—
計	23,759	10,441	34,201	223	34,424	△225	34,199
セグメント利益	409	389	798	42	840	—	840

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,855	10,781	33,636	97	33,733	—	33,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113	—	113	107	221	△221	—
計	22,968	10,781	33,750	204	33,954	△221	33,733
セグメント利益	61	393	454	53	508	—	508

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。